

1. 第 12 期(2022 年 7 月～2023 年 6 月)事業報告・決算報告・監査報告

事業報告

1993 年 6 月 5 日に MELON は設立され、30 年目の事業が終了しました。公益財団法人に移行してからの事業期も第 12 期を終えました。第 12 期もコロナ禍の影響はありましたが、2023 年 5 月から国の方針で新型コロナウイルスの分類が 5 類に移行したことで、少しずつ日常が戻りつつあります。

活動の中心であるストップ温暖化センターみやぎ（宮城県地球温暖化防止活動推進センター）においては、環境省から委託事業 1 件、宮城県から委託事業 1 件、補助事業 1 件を受託したほか、民間団体経由の環境省補助事業を 1 件、民間の助成事業を 1 件受託しました。

宮城県うちエコ診断実施支援事業は 13 年目となり、119 件の診断を実施しました。宮城県地球温暖化防止活動推進員(以下、推進員)候補者募集及び養成研修業務は 6 年目となり、新たに 16 名の推進員が宮城県知事から委嘱を受けました。環境省の地域における地球温暖化防止活動促進事業は、ストップ温暖化センターみやぎの基盤を支える補助金として、「SDGs ① 環境出前講話」を 41 校で実施するとともに、推進員や活動団体の支援や自治体イベントへの出展等に活用しました。また、2 年目となるエフピコ環境基金の取得により、学校等での SDGs 教育プロジェクトを推進し持続可能な社会の創り手を育てるための学習をすすめました。

キリバス共和国関連の事業では、SDGs 環境出前講話の中でキリバス編として 31 校に実施しました。また、地球環境基金「キリバス共和国におけるトロニバイ人材(環境マスター)育成プロジェクト」において、2022 年 11 月に現地へ渡航しての意見交換、2023 年 3 月には現地 NGO・KiriCAN の事務局長とユースリーダーを招へいして本事業の覚書調印式等を行いました。

環境省からの請負事業「東北環境パートナーシップオフィス(EPO 東北)運營業務」は 2010 年度からの請負期間が 13 年目となり、環境省との協働で東北地方 ESD 活動支援センターの運営や東北 6 県の環境活動の HUB として情報発信や自治体・団体等の中間支援の役割を果たしました。

情報センターでは、WEB・メールマガジン・情報紙・Facebook・Instagram を活用し多角的な情報発信を行うとともに、会員企業への取材活動や、情報紙のあり方についてのアンケート実施等を行いました。

部会・プロジェクトは、コロナ禍による制限下での活動が続きましたが、海洋ごみに関する海岸調査、「水質調査・水辺観察活動リーダー・指導者養成講座」、食生活のあり方に関する映画上映会などを実施しました。

「2030 年の MELON ～めざす姿と 21 のアクションプラン～」に基づき設置した政策提言委員会において、毎月のパブリックコメント募集のチェックや意見発表を行いました。

1) SDGs : (Sustainable Development Goals) 2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2016 年から 2030 年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っている。

【3年間の実績】

【表1】

	第10期(2020年7月～2021年6月)	第11期(2021年7月～2022年6月)	第12期(2022年7月～2023年6月)
会員数	491(入会8・退会60)	479(入会18・退会30)	460(入会10・退会29)
経常収益	56,070,266円	55,502,789円	58,984,194円
経常費用	55,951,812円	53,816,460円	58,057,775円
当期経常増減額	118,454円	1,686,329円	926,419円
一般正味財産期首残高	7,546,560円	7,581,714円	9,196,043円
一般正味財産期末残高	7,581,714円	9,196,043円	10,050,462円
基本金(指定正味財産)	45,546,958円	46,046,958円	45,796,958円
新たな事業・活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「ストップ温暖化センターみやぎ20周年記念誌」発行 ・SDGs 環境出前講話を開始し22校で実施 ・一般社団法人日本キリバス協会と協同でYoutubeチャンネル「ケンタロ・オノのキリバス物語」を立ち上げ環境学習動画を配信 ・コロナ禍でMELONフェスタをオンライン開催 ・宮城県に「環境基本計画(第4期)中間案への意見書」を提出 ・仙台市に「杜の都環境プラン(仙台市環境基本計画)中間案への意見書」を提出 ・宮城県知事宛てに「福島第一原発・汚染処理水の海洋放出に関わる声明」を提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・「エフピコ環境基金」助成金を獲得し、SDGs教育プロジェクトを開始 ・一般社団法人日本キリバス協会と協同で新型コロナウイルス感染支援のキリバス共和国向け募金を実施 ・宮城県森林組合連合会との共催による森林トークイベントを開催 ・大塚商会ハートフル基金を獲得し、海洋ごみに関する調査、セミナーを開催 ・KHB(東日本放送)が日本財団の助成を受けて実施した海洋ごみ削減事業の実行委員長として協力 ・「宮城県食品ロス削減推進計画(案)に対する意見書」を提出 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境省「令和4年度地球温暖化対策普及啓発事業に関するセミナー運営等業務」を受託 ・地球環境基金「キリバス共和国におけるトロニバイ人材(環境マスター)育成プロジェクト」を実施、2023年3月に現地NGO・KiriCAN事務局長とユースリーダーを招へい ・MELON30周年記念事業・連続講座のオープニングイベントとして「MELONフェスタ・みやぎSDGs環境アドベンチャー」を開催 ・IKEA 仙台店との連携によるうちエコ診断会を開始 ・株式会社北洲との連携によるWEBへの記事執筆開始

I. 活動内容ごとの報告

1. 脱炭素社会の形成に関する事業

2050年までに温室効果ガス排出の「実質ゼロ」を達成するために、脱炭素社会の形成をめざして以下の事業を行いました。

(1) 家庭における取り組み

家庭のエネルギー使用状況をヒアリングし省エネアドバイスを行う「うちエコ診断」を、各種イベント及び宮城県庁やIKEA 仙台店での診断会を実施し、119件診断しました。

(2) 様々な団体・個人との連携

推進員や自治体などと連携し、イベント出展等を行いました。TBC 東北放送からの依頼によるTBC 夏祭りへの出展や株式会社ウジェススーパーからの寄附金による高校での特別授業などを行いました。

(3) 行政等の助成・委託事業

環境省委託事業「地球温暖化対策普及啓発事業に関するセミナー運営等業務」環境省補助事業「地域における地球温暖化防止活動促進事業」、宮城県補助事業「うちエコ診断実施支援事業」「地球温暖化防止活動推進員候補者募集及び養成研修業務」を受託し実施しました。エフピコ環境基金の助成を受けました。

(4) キリバス共和国関連事業

一般社団法人日本キリバス協会（代表理事ケンタロ・オノ氏）の協力の下、地球環境基金の助成を受け、「キリバス共和国におけるトロニバイ人材(環境マスター)育成プロジェクト」を実施、2022年11月に渡航し関係各所との意見交換、2023年3月には現地NGO・KiriCAN事務局長とユースリーダーを招へいし、本事業の覚書締結式を行いました。

2. 循環型社会の形成に関する事業

県民への4Rの普及啓発を進め、循環型社会の形成をめざして、以下の事業を行いました。

(1) 海洋ごみ問題の普及啓発

4R推進部会において仙台市荒浜での海岸ごみ調査やみやぎ生協環境委員会への講師派遣等を行いました。

(2) 4Rの推進

自治体イベントへの出展や学校等への講師派遣、仙台市アメニティせんだい推進協議会メンバーとして「エコフェスタ 2023」に出展しました。

3. 自然共生社会の形成に関する事業

宮城県の多様な自然環境を守るために以下の事業を行いました。

(1) 森林資源活用の推進

みやぎ里山応援団で仙台市緑の環境団体連絡会への参加やイベントへのブース出展等を行いました。

(2) 水資源に関する調査と啓発

水部会において、毎年恒例の国土交通省「身近な水環境の全国一斉調査」の広瀬川調査への参加、県内の水源や水神を調査する「水の神様」調査、「水質調査・水辺観察活動リーダー・指導者養成講座」等を行いました。

(3) 食への取り組み

一般市民を対象に食のあり方を見つめなおすきっかけづくりとしての「映画『いただきます』みやぎ上映会@まちづくりスポット仙台」を実施しました。

(4) 緑化への取り組み

全国都市緑化仙台フェア（2023年4/26～6/18）の中で、みやぎ生協と協働で仙台市新緑祭 2023 へのブース出展と都市緑化フェアへの展示を行いました。

4. SDGs 教育の推進（詳細は P15）

(1) 地域における地球温暖化防止活動促進事業として取り組んだ「SDGs 環境出前講話」は、小中高校等を対象に41校(キリバス編31校、南極編・気候変動編10校)で実施し、3,681名が参加する取り組みとなりました。

(2) 「SDGs 教育プロジェクト」として、エフピコ環境基金の助成を受け、小学校6校、学習塾1校、児童620名、先生20名に関わり、約50回にわたって学校を訪問して継続的な支援をしました。

5. 政策提言、広報活動強化の取り組み

政策提言、広報に関して以下の活動を実施しました。

(1) 政策提言スキームの実施

理事会で決議した政策提言スキームに基づき、第12期中に3件の意見提出を行いました。

(2) 広報の強化（詳細は P12）

情報センターにおいて、WEB、メーリングリスト、SNS等での広報・情報発信を継続するとともに、会員企業をブログ等でPRするための取材活動を行いました。

6. 部会の活動

前述の各テーマの項に記載したもの以外では、エコシティ仙台プロデュースプロジェクトにおいて「4/16 楽天モバイルパークみやぎ・サステナブルデー」の際にエネルギー関係の体験ブースを出展しました。

7. ストップ温暖化センターみやぎの活動（詳細は P13）

宮城県地球温暖化防止活動推進センターとして各種委託、助成事業の実施等を行いました。

8. EPO 東北の活動（詳細は P21）

環境省からの請負事業として第 12 期も東北 6 県の環境活動をつなぐ役割と東北地方 ESD 活動支援センターの運営を行いました。

9. 自治体の主催事業への参加や各種会議委員としての参画（詳細はⅢ.-1.を参照）

II. 主催イベント報告

のべ 8 回、482 名の参加となりました。（第 11 期：5 回、400 名）

【表 2】

	日時	タイトル	場所	講師	担当部会	参加者数
1	8月6日(土) 14:00～15:30	ワンちゃんネコちゃんと一緒に聞く 犬猫熱中症対策セミナー	Zoom による オンライン 開催	山崎真大氏(岩手 大学農学部教授)	ストップ 温暖化 センター みやぎ	25 名
2	9月14日(水) 13:00～16:00	中小企業のための省エネセミナー脱炭 素経営のすすめ～省エネ対策でコスト 削減を実現～	漁信基ビル (仙台市)	佐々木剛氏(東北経済 産業局資源エネルギー 環境部エネルギー対策 課課長補佐) 原田和昭氏(東北地方 環境事務所地域脱炭素 創生室室長補佐) 表伸也氏(宮城県「省 エネお助け隊」専門家・ミ カド電装商事株式会社) 牧野 雅弘氏(宮城県 環境産業コーディネータ ー)	ストップ 温暖化 センター みやぎ	26 名
3	10月8日(土) 9:00～15:00	野々島散策・マイクロプラスチック調査 体験	野々島(塩 竈市浦戸 野々島 宇 内浜ほか)	山田一裕氏(MELON 水部会長/東北工業大 学教授) 鈴木正徳氏(野々島散 策案内人)	水部会	13 名
4	10月29日(土) 10:00～11:00	七北田公園樹木観察会	仙台市七北 田公園	佐藤権一氏 (公益財団法人仙台市公 園緑地協会・七北田公園 都市緑化ホール・緑の相 談員)	みやぎ里 山応援団	20 名

5	2023年 1月22日(日) ① 11:00～ ② 14:00～	海を守ろう 地球温暖化と私たち ① 11:00 「仙台商みの杜水族館の取り組み」 ② 14:00 「今、みやぎの海で起こっていること」	仙台商みの 杜水族館	齋藤康秀氏(仙台商みの杜水族館飼育企画リーダー) 太齋彰浩氏(一般社団法人サステナビリティセンター代表理事)	ストップ 温暖化 センター みやぎ	10名 20名
6	3月21日(火) 15:00～16:30	「いただきます」みやぎ上映会 @まちづくりスポット仙台	まちづくり スポット仙台	—	食部会	26名
7	3月28日(火) 10:15～15:00	水質調査・水辺観察活動 リーダー・指導者養成講座	東北工業大 学一番町ロ ビー及び広 瀬川霊屋橋 下流河川敷	石橋良信(東北学院 大学名誉教授) 山田一裕(東北工業 大学教授)	水部会	15名
8	6月17日(土) 11:00～15:20	第27回 MELON フェスタ	せんだいメ ディアテーク	廣澤一浩氏(株式会社 仙台商水産執行役員) 親川麗子氏(COOP 緑 の基金運営委員会委員 長) 三浦隆弘氏(三浦農 園) ケンタロ・オノ氏(一般 社団法人日本キリバス協 会代表理事) 石井洋子氏(第49次 日本南極地域観測隊員)	MELON	327名

III. 協働の取り組みの推進

1. 委員派遣・共催・名義後援・講師派遣・意見発表等について

(1) 行政・他団体の各種会議への委員派遣等

【表3】

国	東北地域エネルギー・温暖化対策推進会議構成員
宮城県	環境審議会委員、「ダメだっちゃ温暖化」みやぎ県民会議委員、宮城県再生可能エネルギー等・省エネルギー促進審議会委員
仙台市	環境審議会委員、E-Action 実行委員会委員、環境配慮事業者認定委員会委員、アメニティせんだい推進協議会委員、廃棄物対策審議会委員、杜の都の市民環境教育・学習推進会議委員、公園緑地協会評議員、仙台市食育推進会議委員、仙台市協働まちづくり推進会議委員
他市町村	大崎市バイオマス産業都市構想検討委員会委員、多賀城市環境審議会委員 富谷市 2050年ゼロカーボン戦略合意形成検討委員会委員
他団体	特定非営利活動法人気候ネットワーク理事・運営委員、消費者行政の充実強化をすすめる懇談会みやぎ委員

(2) 共催・名義後援

【表4】

	開催日	名称等	内容	主催
1	7月28日 8月1日	MELON&あすなる学院共同企画 「太陽光発電システムを作ろう」	名義後援	株式会社学研スタディエ 東北事業本部 あすなる学院
2	10月15日 11月18日 1月27日 3月18日	さばいて作る「大人のお魚教室」	名義後援	食育NPO「おむすび」
3	9月18日	りふ環境まるごとフェア 2022	名義後援	利府町生活環境課
4	10月22日	「キリバス共和国を知っていますか!？」ケ ンタロ・オノ氏講演会	名義後援	ゆりりん愛護会
5	2023年 4月2日	ミツバチの生態と養蜂の魅力 ～ミツバチの生み出す自然の恵みにつ いて～	名義後援	日本薬用植物友の会

(3) 講師派遣

【表5】

	実施日	内容	対応者	主催
1	7月6日	長谷川理事長「環境と社会」授業 のゲスト講師	井上郡康事業統括	尚絅学院大学
2	8月1日	荒町商店街打ち水イベントの事前 学習講師	吉田美緒チーフ	仙台市若林区 荒町商店街振興組合
3	8月27日	「SDGs 海の環境:マイクロプラス チック」講演	吉田美緒チーフ	仙台合唱団若星
4	9月7日	「海洋ごみについて知ろう」 海岸清掃活動講師	根岸誠氏・篠原富雄 氏(4R推進部会) 吉田美緒チーフ	みやぎ生協環境委員会
5	10月1日	東北工業大学オンライン講座 「地球未来学」講師	中田俊彦評議員	東北工業大学 地域連携センター
6	10月18日	市民企画会議『MOTTAI N AI』を広めて	早川昌子事務局員	仙台市 黒松市民センター
7	11月10日	探求の時間「地球温暖化と異常 気象について」	吉田美緒チーフ 小山田陽奈事務局員	宮城県古川高等学校
8	12月4日	環境問題について	吉田美緒チーフ	宮城県宮城野高等学校
9	12月17日	荒井児童館「リメイクキャンド ル作り～捨てられるろうそくを 再利用～」講師	岸典子氏 (ボランティア) 吉田美緒チーフ	アメニティ・せんだい 推進協議会
10	2023年 2月8日	「地球温暖化とわたしたちのくら し」講師	小山田陽奈事務局員 吉田美緒チーフ	みやぎ生協 消費生活委員会
11	2月16日	R4年度みやぎアップグレードリサ イクルコンソーシアム総会 「ごみ減量3R 構築プロジェクトに ついて」講師	小林幸司事務局長	宮城県 産業技術総合センター

12	3月8日	「わたしたちのSDGs」講師	早川昌子事務局員 吉田美緒チーフ	宮城県視覚障害者情報センター
13	6月25日	私にもできるSDGs第1回「スウェーデンのSDGsな暮らし」	時任晴央氏	仙台市 榴ヶ岡市民センター
14	6月29日	R5年度「はじめる！SDGs～STOP!地球温暖化～地球温暖化とは」	吉田美緒チーフ	名取市 ゆりが丘公民館

(4) 政策提言・意見発表等

【表6】

	提出日	内容	提出先
1	2023年 10月4日	みやぎゼロカーボンチャレンジ 2050 戦略(中間案)に対する意見(MELON 理事長名で提出)	宮城県環境生活部 環境政策課
2	10月4日	みやぎゼロカーボンチャレンジ 2050 戦略(中間案)に対する意見(ストップ温暖化センターみやぎセンター長名で提出)	宮城県環境生活部 環境政策課
3	11月30日	(仮称)仙台市太陽光発電事業の健全かつ適正な導入、運用等の促進に関する条例」素案に対する意見(MELON 事務局長名で提出)	仙台市議会事務局 調査課

(5) 他団体主催イベント・企画の協力等

【表7】

	開催日	名称等	参加内容	主催団体
1	7月10日	楽天生命パーク宮城 サステナブルエコ体験	ブース出展	株式会社楽天野球団
2	7月23日～ 7月24日	tbc 夏まつり 2022	ブース出展	tbc 東北放送
3	9月17日	仙台市交通フェスタ 2022	ブース出展	仙台市交通局
4	12月4日	気候変動×SDGs ギャラリー トークイベント	企画・運営	東北地方環境事務所
5	2023年 3月4日	環境フォーラムせんだい 2023	MELON、ストップ温暖化 センターみやぎがそれぞれ ブース出展	FEEL Sendai
6	4月16日	楽天モバイルパーク宮城 サステナブルエコ体験	ブース出展	株式会社楽天野球団
7	4月29日	全国都市緑化仙台フェア内 仙台市新緑祭	ブース出展	仙台市建設局
8	6月25日	SDGsマルシェ 2023	ブース出展	尚絅学院大学

(6) 第12期末現在 MELON が加入している団体

【表8】

加入団体	加入形態	会費(口数)
認定NPO法人気候ネットワーク	正会員(団体)	50,000円(10口)
認定NPO法人地球環境市民会議(CASA)	会員(団体)	10,000円(2口)
一般社団法人地球温暖化防止全国ネット	正会員	40,000円(1口)

2. 第 27 回 MELON 会員と市民のつどい MELON フェスタ（詳細は P26）

MELON は創立 30 周年を迎えて、これまでの MELON のネットワークと資源を生かした 30 周年記念連続講座を行うこととし、「第 27 回 MELON 会員と市民のつどい MELON フェスタ」は、そのオープニングイベントとして「みやぎ SDGs 環境アドベンチャー」と題してステージ講演を中心に開催しました。

会場では MELON を支える会員企業、協同組合、部会・プロジェクトによるブース出展も行いました。

3. 委託事業・助成金等

【表 9】

事業名	交付者	事業科目	事業期間
令和 4 年度東北環境パートナーシップオフィス運営業務	環境省東北地方環境事務所	請負事業	2022 年 4 月 1 日～ 2023 年 3 月 31 日
令和 4 年度地球温暖化対策普及啓発に関するセミナー運営業務	環境省東北地方環境事務所	委託事業	2022 年 10 月 13 日～ 2023 年 2 月 28 日
令和 4 年度うちエコ診断実施支援事業補助金	宮城県	補助金	2022 年 6 月 9 日～ 2023 年 3 月 17 日
令和 4 年度地球温暖化防止活動推進員新規募集養成研修業務	宮城県	委託事業	2022 年 6 月 2 日～ 2023 年 1 月 31 日
令和 4 年度地域における地球温暖化防止活動促進事業	一般社団法人地球温暖化防止全国ネット	補助金	2022 年 6 月 1 日～ 2023 年 3 月 20 日
「Green Gift 地球元気プログラム」運営支援に関する委託契約	日本 NPO センター（東京海上日動火災保険株式会社）	委託事業	2022 年 4 月 1 日～ 2022 年 9 月 30 日
2022 年度地球環境基金助成金「キリバス共和国におけるトロニバイ人材（環境マスター）育成プロジェクト」	独立行政法人環境再生保全機構	助成金	2022 年 6 月 20 日～ 2023 年 3 月 31 日
令和 4 年度エフピコ環境基金	株式会社エフピコ	助成金	2022 年 4 月 1 日～ 2023 年 3 月 31 日

IV. 評議員会、理事会、監事会運営

1. 評議員会（3回開催）

【表10】

	日程	主要議題
第1回	2022年 8月24日	第11期事業報告・決算報告および監査報告の件、 役員を選任の件ほか
第2回	11月14日	第12期事業の進捗報告、30周年事業検討の件ほか
第3回	2023年 6月19日	第13期事業計画案・予算の件ほか

2. 理事会（4回開催）

【表11】

	日程	主要議題
第1回	2022年 8月8日	第11期事業報告・決算報告および監査報告の件ほか
第2回	11月7日	基本財産運用の件、30周年事業検討の件ほか
第3回	2023年 4月17日	印章管理規程改定、第13期役員会日程、 第13期事業計画第一次案の件ほか
第4回	6月5日	第12期補正予算の件、 第13期事業計画第二次案・予算の件ほか

3. 監事会（1回開催）

【表12】

	日程	主要議題
第12期監事会	2023年 7月27日	第12期・理事の業務執行状況並びに決算について監査

V. 維持会員の状況および部会・プロジェクト、事務局体制、ボランティアスタッフの活性化について

1. 維持会員の状況

第12期末の会員数は法人54（入会2退会2）・任意団体7（入会0退会1）・個人399（入会8退会26）合計460で前期末からマイナス19となり、会員増は引き続きの課題ですが、以下の通り会費収入については、予算を40万円ほど上回る結果となりました。

【表13】

会費の 納入状況	第12期の会費予算5,600,000円に対し、会費納入額6,000,000円となりました。
寄附の 状況	第12期合計で1,358,223円の寄附をいただきました。内訳は以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ みやぎ生活協同組合からみやぎ生協 MELON 協力商品券売上による寄附額1,091,585円 ◆ 株式会社日専連ライフサービスから MELON 協力商品券売上による寄附額17,759円、スマイルポイントによる寄附額1,000円 ◆ 株式会社ウジエスーパーからレジ袋の売却益による寄附額73,000円 ◆ 株式会社北洲からの寄附額50,000円 ◆ 5年会員制度による寄附額7名分14,000円 ◆ ほかに個人12名から合計寄附額110,879円

2. 部会・プロジェクト体制について

第12期の部会・プロジェクトの長は下記の通りでした。

【表14】

部会・業務	部会長
ストップ温暖化センターみやぎ運営委員会	長谷川公一
情報センター運営委員会	石垣政裕
水部会	山田一裕
食部会	冬木勝仁
4R推進部会	根岸誠
MELON cafe	なし
みやぎ里山応援団	今野勇
エコシティ仙台プロデュースプロジェクト	村松淳司

3. 事務局体制について

みやぎ生活協同組合、宮城県農業協同組合中央会、宮城県漁業協同組合、宮城県森林組合連合会の事務局体制は変わりません。

事務総長を除いた専任事務局スタッフは、当初スタッフ12名でスタートし、期中に4名退職4名採用で、現在スタッフ12名となっています。

4. ボランティアスタッフの活性化について

(1) 「ボランティアポイント制度」

ボランティアスタッフの活用に力を入れるための条件整備の一環として、2003年度6月より導入した本制度（MELONの活動にボランティアとしてご参加いただいた会員の皆様に活動参加の実費の一部補填する意味で、1回のボランティア参加に1個のスタンプを押し、スタンプが5個たまった時点で1,000円分のMELON協力商品券と交換するもの）を第12期も継続運用しました。

● 第12期ボランティアポイント制度の活用状況

スタンプ5個到達枚数（MELON商品券交換数） 9枚（第11期13枚）

スタンプ5個到達者数（同一人物が何回到達しても1人と計上）7人（第11期10人）